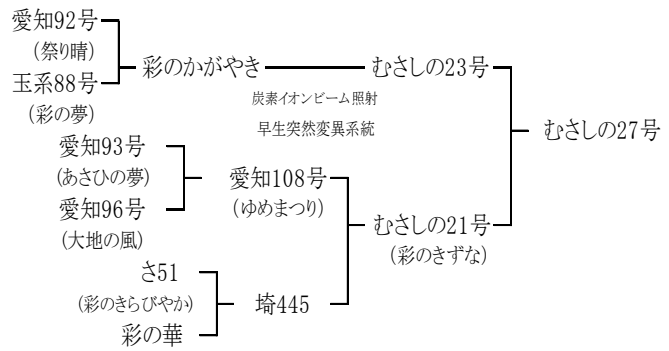


水稻有望系統「むさしの27号」について

農業技術研究センター
品種開発・ブランド育成研究担当

1 育成経過及び系譜

「むさしの27号」は、高温に強く、「彩のかがやき」並のイネ縞葉枯病抵抗性・穂いもち圃場抵抗性・ツマグロヨコバイ抵抗性をもつ良食味品種の育成を目標として、平成22年に「むさしの23号」を母親、「むさしの21号」（後の「彩のきずな」）を父親として人工交配を行った組合せから育成された晩生の水稻粳種である。



2 品種の特徴

(1) 暑さに強く、安定した玄米品質

高温耐性は「彩のかがやき」よりも 3 ランク程度強く、夏季の高温でも白未熟粒が少なく、県内どこでも安定して良質な玄米を生産することができる。

(2) 「彩のかがやき」並の生育と収量

熟期は「彩のかがやき」と同じで、収量は同等～やや多い。

(3) 「彩のかがやき」並においしい

玄米タンパク質含量及びアミロース含量は、「彩のかがやき」と「コシヒカリ」の間で、官能食味は「彩のかがやき」並においしい。

(4) 複数の病害虫に強い

「彩のかがやき」と同じ、縞葉枯病、穂いもち、ツマグロヨコバイに抵抗性をもつ。

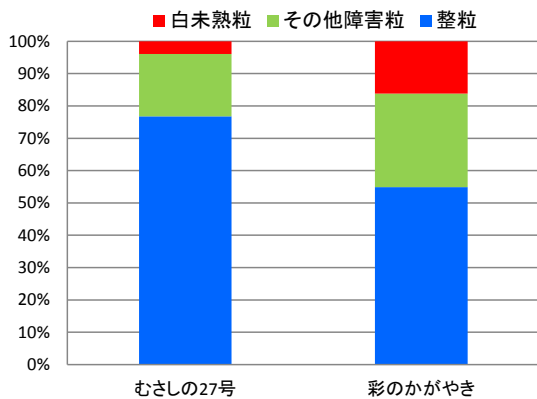


図1 玄米の外観品質(高温年)

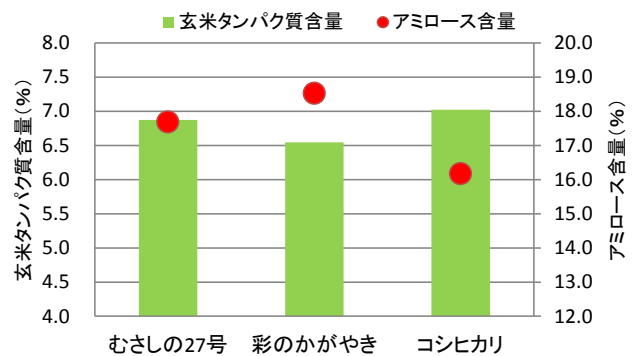


図2 食味関連成分(5月中旬植)

3 平成30年度の取り組み

奨励品種決定現地調査を県内 8 カ所で行い、県内各地での適応性を検討する予定である。また、水稻高温対策特別事業において、県内 3 か所 10a以上の面積で高温耐性の現地実証ほを設置する予定である。